

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成31年4月15日(月) 午後2時30分～午後4時30分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 井上 靖史君
3番 山本 香織君 4番 沼田 芳美君
5番 村上 惠宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成 次長兼教育総務課長 岸 弘美
教育指導課長 操上 俊樹 幼児教育課長 稲葉 祐人
生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 鈴木 慎一
教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 杉山 詩乃
- 6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会4月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：続いて、平成31年4月1日付け人事異動に伴い、新たに教育部に配属された職員の紹介を行う。

(職員紹介)

教育長：それでは議事に入る。教育長報告を行う。4月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

3月19日 未来ビジョン会議

20日 伊東北中学校卒業式参加

22日 議会本会議(最終日)、伊東市防災会議

25日 政策会議、文化財保護審議会、いとう創造大賞最終審査

- 26日 幼稚園・保育園新規採用職員配属先伝達
- 27日 校長会幹事会要望、固定資産評価委員任命式
- 28日 小規模保育園「えん」内覧会
- 29日 退職校長感謝状贈呈式、退職者発令
- 30日 市民劇場鑑賞会
- 4月 1日 人事異動発令式、政策会議
- 3日 園長・校長会、中央区立宇佐美学園長来庁
- 4日 保育園長会、伊東医師会訪問、教育相談室相談員辞令伝達
- 5日 日本教育公務員弘済会静岡支部来庁
- 7日 オール伊豆社会人ソフトボール大会
- 8日 県議会議員選挙当選証書付与式
- 9日 市町教育長会
- 10日 課長会議、政策会議
- 11日 生徒指導協議会、課長会議
- 12日 静東管内市町教育長会
- 14日 山頭火祭り
- 15日 教育委員会定例会、JA あいら伊豆・副読本贈呈式

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：4月3日（水）の園長校長会に出席した。その中で話があったが、保育コンシェルジュとはどういった役割か。

稲葉幼児教育課長：保育コンシェルジュは、5、6年前から幼児教育課の窓口に1人配属し、保育園の受付や相談等を事務的な対応ではなく、相手の立場に

寄り添うように対応をしてもらっている。昨年は年間400件くらいの相談を受けた。

委員：南中学校と八幡野小学校の卒業式に出席した。南中学校は人数が多いので、なるべく時間のロスを無くし、無駄なく行っていた。特別支援学級の子もリーダーがしっかりまとめている様子が見られ良かった。両校とも練習がしっかりできていると感じた。また、対島中学校の入学式に出席した。式中に新生が2人倒れてしまったので、座らせる等対応が必要だったかと思う。緊張感があり、空気が少し重く感じた。卒業式のようにもう少しアットホームにできたら良いのではないか。

委員：対島中学校と川奈小学校の卒業式、南中学校の入学式に出席にした。対島中学校は答辞を述べた子が“毎日学校へ行くのが楽しかった”と言っていたのがとても印象に残った。川奈小学校は、地元密着でアットホームな雰囲気があった。今後統廃合の際は地域の方の理解を得ることが大切だと感じた。南中学校の入学式は淡々と進んだ感じがした。

委員：宇佐美中学校と東小学校の卒業式に出席した。宇佐美中学校はアットホームな雰囲気があり、合唱がとても良かった。卒業生62人中5人が欠席だったのが少し残念に思った。母校なので、久しぶりに校歌が歌えて良かった。東小学校は服装も派手ではなく落ち着いた雰囲気だった。合唱に長い時間をとってしまっていたので、来賓が少し飽きてしまっていた。記念品を渡す際に気持ちの良いお礼をもらった。玖須美保育園の卒業式に出席した。親子で色々と乗り越えてきた部分が多かったのではないか。1人1人が親にお礼を言う場面があり、成長を感じとても感動した。やはり子どもの少なさを感じた。また、宇佐美中学校と南小学校の入学式に出席した。緊張感があってピリッとしていた。南小学校は在校生の挨拶の映像をスクリーンで流していたが、直接顔を合わせ

の方が良いのではないかなと思った。

委員：門野中学校と旭小学校の卒業式に出席した。門野中学校は卒業生で欠席が5人いた。旭小学校はすごく落ち着いていて、呼びかけのやり方が工夫されていたのがとても良かった。また、宇佐美小学校の入学式に出席した。とても小さくて可愛かったが、大人と同じ椅子に座っていたので、足がプラプラ動いてしまっていた。途中で2年生が来て、歌や合唱を発表してくれた。1年間でこんなに成長するのかと感動した。

委員：全国的に問題となっていた服装について、八幡野小学校は袴の子はいなかった。

委員：東小学校もいなかった。

委員：旭小学校は、女の子が5人以上、男の子が3、4人いた。袴にワッペンと名札を付け、足元は上履きを履いていたので、少し不思議な感じがした。

教育長：それでは、議題に入る。議決事項、教選第1号「伊東市公民館運営審議会委員 兼 社会教育委員の委嘱について」を議題とする。

（杉山生涯学習課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：この件について確認する。教選第1号「伊東市公民館運営審議会委員 兼 社会教育委員の委嘱について」は原案どおり承認してよろしいか。

（委員全員から賛成の声）

教育長：承認が得られたので、教選第1号については、原案どおり決定した。

教育長：次に、報告事項に入る。教報第1号「平成31年度 教育指導課指導の重点について」を議題とする。

（操上教育指導課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

教育長：教職員の指導能力の向上を図っていきたい。伊東市の教員は中堅が少ないので、柱となる人材育成をしていく必要がある。

教育長：次に教報第2号「伊東市病児・病後児保育事業実施要綱の全部を改正する要綱について」を議題とする。

（稲葉幼児教育課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

教育長：利用人数はどのくらいなのか。

稲葉幼児教育課長：病児対応型において昨年1年間で370人くらい、体調不良児対応型においては、一番多かった富戸保育園で年間150～160人くらい利用している。今年度から開始した玖須美保育園では現在までに約10人の利用があった。看護師を配置し親が迎えに来るまでの間保育を行う。

委員：利用する場合、申込書を提出することになっているが、実際にはすぐに対応できない部分があると思うが、柔軟な対応をしているのか。

稲葉幼児教育課長：病児対応型は利用していただく前に指定医療機関に受診してもらっているが、体調不良児対応型は保育園で体調が悪くなってしまった場合は園の判断にて利用してもらっている。

教育長：以上で報告事項を終了する。

教育長：次に、その他に入る。その他協議事項として「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針について」を議題とする。

（事務局から資料に沿って説明）

教育長：それでは、ただいま説明のあった基本方針（案）について、協議を行う。意見・質問はあるか。

教育長：懇話会から答申をいただき、スピード感を持って事務局にて案を作成

した。夢のある学校へ、プラス思考で統廃合を考えていきたい。様々な視点で意見をもらいたい。

委員：現状の人口や子どもの数を見て、統廃合を進めていくことは必要かと思う。長期的な部分は、人口予想は信頼度に欠けるので、考慮する必要はないかと思う。地域として学校が無くなると人口は減少していってしまうので、マイナス面を共に考えていけたら良い。

事務局：推計で計画することは難しい。基本方針でも謳っているように、まずは2本の柱で、他は人口等を注視しながら段階的に考えていきたい。

委員：対島地区は人口減少が少ないのは、何か要因があるのか。そこに良いアイデアが隠されているかもしれない。

委員：家を持ちたいとなったときに、土地も広いので、対島地区に移住する方もいるのではないか。一時期、門野地区に子どもが増えたのも同じ要因ではないか。

委員：速やかに行う具体的な方策については、せざるを得ないだろう。人口問題について、減少に歯止めをかけるため、子育て支援の充実や魅力のある新しい学校づくり、企業誘致等を行っていく必要があるのではないか。3校統合については、北中学校も含めて小中一貫校にして、魅力的な新しい学校づくりとして見据えてもいいのではないか。最初の統廃合は仕方ないとしても、それを魅力に変えて人口増加の足掛かりとできれば良い。跡地利用として、企業誘致や人口増加の政策を行えないか。魅力ある学校づくりにより、伊東市自体にも変化が生まれれば良いと思う。

事務局：懇話会でも同様な意見が出た。段階的な対応の中に盛り込んでいるが、地域との話をするなかで、小中一貫校について地域や保護者の方々の意向を伺っていきたい。跡地の利用については、学校は地域のシンボルであるという考

えの下、観光地伊東としての特色を活かし、外から訪れる人も利用できる施設としての活用も模索していく。教育委員会だけでなく、市長部局とも連携を持ち、幅広い関係部署と横の繋がりを持ち、企業誘致等も含め検討を進めていきたい。

委員：防災の面で考えると、西小学校の所に1つ避難できる場所があった方が良いのではないか。

委員：現状の校舎を使うのであれば東小学校だと思うが、新校舎であれば、市街地でも良いのではないか。地域の方たちも安心するのではないか。小学校3校を統合した場合、中学校はバラバラになってしまうのか。そこはどうにかならないのか。

委員：小中一貫校や義務教育学校のメリット・デメリットがまだ見えていない。教育的に成果がはっきり分かれば良いのだが、もっと検討が必要かと思う。南小学校と川奈小学校の統合をモデルケースとし、少ないから統合ということではなく、プラスの考え方をしていきたい。統廃合の時期的な目安を持って進めていった方が、保護者等も不安は出にくく良いのではないか。

教育長：では、話を絞って川奈小学校と南小学校の統合について、意見・質問はあるか。

委員：川奈小学校と南小学校の統合はこの期限で良いと思う。

委員：スケジュール的に、説明にかけられる時間が1年くらいになってしまうかと思うが、どこまで理解を得られるかが問題である。安心できるものを伝えていく必要がある。交通手段等、“～しようと思っている”等と曖昧な言い方ではなく、具体的に説明をする必要があるかと思う。

教育長：子どもたちや住民の方たちが良かったと思えるように初めが1番大事かと思う。スピード感を持って進めていくことで、うやむやにさせないように

したい。

委員：川奈臨海学園はどのような対応となるのか。

教育長：川奈小学校が少人数だからこその部分はあったかと思うので少し心配はあるが、子どもは意外と順応能力が高いので大人数になっても楽しむのではないか。

教育長：東小学校・西小学校・旭小学校の3校統合について、意見・質問あるか。

委員：それぞれの学校に歴史があり、地域がたくさんあるので、なかなか難しく大変だが、進めていかなくてはいけないと思う。統廃合までに費やす時間は大変だろう。

委員：場所についても考えていく必要がある。

委員：スケジュールについて、地域に説明はまとめて行うのか。

事務局：それぞれの地区で行うことになるかと思う。

委員：中学校はどうするのか。バラバラで何年いくのか。将来小中一貫校になる方向でいくのか。方向性をある程度決めないと説明ができないのではないか。

操上教育指導課長：それぞれ検証がまだはっきりされていない。小中一貫校や義務教育学校についての発想は、学校現場からはそんなに出ていない。

委員：小学校でも教科担任制が始まるような報道を見たが、教科担任制になった場合は小中一貫校等の方が教員としてはやりやすいかと思う。

教育長：今後地域協議会が行われると思うが、進学先の中学校についても答えられるように準備していきたい。多少柔軟性を持ち、地域等から出た意見は対応できる部分は対応していこうと思う。

委員：小学校の学区について、もし東小学校の場所に統合となった場合、旭小学校に通っていた子が大池小学校の方が近くなったりするが、学区は変わるの

か。

事務局：住所によって学区を定めている。基本的には決められた学校に行くことになるが、何らかの理由があれば指定校変更の対応となるかと思う。

教育長：本日協議したものを5月の総合教育会議にて市長を含め協議を行う。報道も入るので、統廃合についての方針が公になるかと思う。今後パブリックコメントや地域協議会でたくさんの意見をもらうこととなるであろう。

委員：3校統合しなくてはいけない状況であるのは誰が見ても理解できると思うが、どこにするのかが大きな課題であろう。様々な意見をすくい上げるのではなく、魅力的な学校になるようなプランを作り説明した方が地域協議会等で話しやすいのではないか。統合というより、まったく新しい学校として生まれ変わるような形にして、西小学校の場所に新しい校舎を作るのも良いのではないか。地域が廃れてしまうという意味で、東小学校の周辺には市役所もあるので、西小学校の場所が良いかと思う。

教育長：防災会議に出席しているが、津波浸水域に学校を建てるという発想は今の日本では考えられない状況である。それを覆して建てるとなると様々な問題が出てくると思われる。安全面等も考え、東小学校を第一候補として考えている。

教育長：それでは、ただいまいただいた意見を踏まえ、5月22日（水）に開催する総合教育会議にて市長と協議を行う。

教育長：次に、その他「平成31年度 伊東市教育委員会の組織機構等について」を議題とする。

（富士教育部長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：次に、その他「平成31年度 小中学校、幼稚園・保育園一覧表について」を議題とする。

（**富士教育部長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：次に、その他「平成31年度 児童・園児・生徒数について」を議題とする。

（**操上教育指導課長・稲葉幼児教育課長**から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

岸次長兼教育総務課長：5月22日（水）に総合教育会議を開催する。各教育委員の視点で課題や意見、予算的・人的に必要なもの等を発言していただきたい。

教育総務課から2点報告する。1点目は、教育総務課の職員体制について報告する。退職した職員を再任用職員として学校事務に配置した。昨年度3人だったが今年度4人とした。また、学校事務に従事する臨時職員を1人増員した。これにより、全ての小中学校にて給食費等の市費の徴収業務を市の職員が行えるようになった。学校の先生方がなるべく学校で現金を取り扱わないようにするというのは目標の1つでもあったので、今年度体制を整えることができた。

2点目は、環境課よりリサイクルトイレットペーパーの寄付をいただいたので報告する。4月24日（水）に富戸小学校にて贈呈セレモニーを行う。幼稚園・保育園も含めて、100箱の寄付をいただいた。

操上教育指導課長：教育指導課から生徒指導について平成30年度の集約結果

の概況を報告する。問題行動については、年間小学校で263件、中学校で182件であった。単純に小学校が悪い状況という訳ではなく、先生方が細かい部分まで目を配り、報告をしているのが件数に表れているのではないか。小学1年生では、衝動的に行動してしまう、我慢できない部分があるかと思われる。いじめについては、学校による認知件数の違いに関して指摘いただいているので、再点検をして、認知の共通理解や見逃し・見落としがないか、各学校で徹底していきたい。不登校については、出現率が小学校で2.37%、中学校で5.53%と県や国と比べても高い。中学校では小学校からの継続がとても多い。複合的な原因を持っていることが多く難しいが、学校に復帰できるように、その子供たちの状況に応じて対応していきたい。ただ、“なんでもかんでも学校に来させようとするな”という意見もいただいている。家にいるときの学習支援や生活支援も考えていかななくてはいけないと感じる。

稲葉幼児教育課長：幼児教育課から幼児教育の無償化について報告する。消費税率の引き上げに合わせ10月から実施するため、準備を進めている。6月頃から各施設とやり取りを始め、夏頃から保護者との手続きが始まるようなスケジュールになるかと思う。手探りの部分もあるので、近隣の市町の情報収集をして、幼児教育の無償化にしっかりと対応できるように考えている。

杉山生涯学習課長：生涯学習課から年間の事業について報告を行う。

（杉山生涯学習課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：今後の日程について確認する。

5月の定例会については、5月22日（水）午後1時30分から

その後、総合教育会議を午後3時から

6月の定例会については、6月26日（水）午後2時30分からを予定している。

教育長：以上で伊東市教育委員会4月定例会を終了する。

以上のおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃